

2020年度 事業報告書

(2020. 4. 1 ～ 2021. 3. 31)

一般財団法人 少林寺拳法連盟

目 次

I 総論

1. 2020年度の事業を振り返って
2. 2020年度の重点課題の取り組み結果

II 各事業報告及び事業内容

1. 少林寺拳法の普及及び指導に関する事業

- 【1】大学少林寺拳法部連盟本部幹部研修会／合宿
- 【2】大学少林寺拳法部地方開催合宿
- 【3】中学校保健体育における武道授業推進活動

2. 指導者の養成事業

- 【1】支部長・監督研修会
- 【2】少年部指導者研修会
- 【3】支部長資格認定研修会
- 【4】支部長資格仮認定研修会（学生対象）
- 【5】学生指導者研修会
- 【6】全国指導者研修会（全国中高武道授業指導者研修会）
- 【7】学校少林寺拳法実技指導者講習会
- 【8】中学校武道授業推進特別研修会
- 【9】運用法研修会

3. 各種大会、講習会、研修会及び研究会等の開催並びに指導員の派遣に関する事業

- 【1】少林寺拳法全国大会
- 【2】シャイニングフェスタ
- 【3】全国高等学校少林寺拳法大会
（兼 令和2年度全国高等学校総合体育大会少林寺拳法競技大会）
- 【4】全国高等学校少林寺拳法選抜大会
- 【5】全国中学生少林寺拳法大会
- 【6】少林寺拳法全日本学生大会
- 【7】全自衛隊少林寺拳法大会
- 【8】全日本実業団少林寺拳法大会（全日本実業団連盟設立50周年記念）

- 【9】各種大会
- 【10】各地区学生少林寺拳法連盟合宿
- 【11】2020年度少林寺拳法オンライン講習会
- 【12】オンラインLive 修練 ～コロナ禍を吹っ飛ばせ～

4. 会員の承認及び会員に対する指導・助言

- 【1】理事長研修会

5. 少林寺拳法の技術指導・学科指導・指導技術に関する調査・研究

6. 少林寺拳法に関する機関紙及び図書等の発行

- 【1】少林寺拳法普及の機会を広げ、支援・協力者（団体）を増やしていく
- 【2】出版その他

7. 青少年教育関係諸団体及び武道、スポーツ団体との交流

- 【1】関係諸団体との連携
- 【2】地域社会での協力
- 【3】世界武道祭

8. その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

- 【1】鏡開き・稽古始め
- 【2】宗道臣デー（月間）
- 【3】本部修練
- 【4】安全管理の充実
- 【5】日中交流及び国際交流事業
- 【6】理事会
- 【7】評議員会
- 【8】都道府県連盟・各連盟理事長会議
- 【9】少林寺拳法の知的財産の保護に関する事業
- 【10】事業課活動の拡充

I 総 論

1. 2020年度の事業を振り返って

2020年度最大の関心事は、言うまでもなく、新型コロナウイルス感染症の拡大でした。当連盟の事業もその影響を大きく受け、総じて“足踏み”“停滞”した一年であったことは間違いありません。

年度当初より手探りの状態が続きましたが、支部長・監督の教育を停滞させるわけにはいかないと、支部長・監督研修会を資料配布・動画配信による在宅研修に切り替えました。また、東京事務所発信の事業として、10月からはオンライン講習会もスタートし、のべ700名の受講者が参加しました。これは予想を大きく上回る数字で、オンラインの可能性を示唆する結果であったと思います。

このように、足踏みしつつも考え続ける中で、デジタルネットワークを活用したオンライン教育の可能性を見出せたことは大きな手応えであり、この経験は2021年度事業において「オンラインセミナーの水平展開」という新しい取り組みへと着実に繋がっています。

会員数への影響は以下の数字となります。これらの数字の陰に、支部長・監督、幹部拳士のご尽力があったことを肝に銘じたいと思います。

	スポーツ少年団	総合型スポーツC	体育館武道館	職域	大学	高校	中学校
2019年度	8000	173	41	860	3473	5181	159
2020年度	7399	160	53	759	2279	4709	158

(各年度10月統計数値を比較)

とりわけ、大学少林寺拳法部のダメージは深刻で、新入部員ゼロの大学が全体の42%、新入部員1～5名の大学が全体の46.3%にのぼり、88.3%の大学で深刻な状況が生じています。これへの対策として、各地区学生連盟が地区内のハブとなり、主にSNSを活用した勧誘ノウハウの共有を推進しました。また、全日本学生連盟として地区を横断した情報交流も行われ、大学生拳士が自らの力で現状を開拓しようという機運が高まっています。(形態を変えて全日本学生大会・各地区学生大会も実施)

当連盟としては、理事長にもこの状況を報告し、都道府県・各連盟単位で大学少林寺拳法部との交流が活発になる方策をとともに模索しています。

新型コロナウイルス感染症が引き金となって生じた社会の各種変容は、指導者層のIT技術への親和性など、当連盟の未解消課題を浮き彫りにし、課題解決は先延ばしできないという緊張感があります。2021年度からは創始80周年(2027)年までの中期計画に基づく、組織機構の抜本的な点検に着手いたします。

苦い経験から教訓を得て、明るい未来に繋げてゆくことが肝要と考えます。

2. 2020年度の重点課題の取り組み結果

(1) 指導技術の向上と共有化

①時代に即した「より良い指導者像」と、「指導技術の向上計画」の確認

②指導者用の「支部運営と指導技術の向上」参考資料の提供

③暴力、体罰、ハラスメント等の根絶促進、安全管理の徹底

→支部長・監督研修会について、『在宅研修用資料』を定期発行し、実施に代替した。

→学生指導者研修会を開催し、オンラインセミナーにて伝達した。

(2) 非会員向けプログラム・セミナーの開発

①シャイニングフェスタの企画充実

→集会型のシャイニングフェスタを脱し、グループ公式YouTubeチャンネルを活用した発信により、これまで以上に多くの方々にその趣旨と取り組みを共有することができた。ただし、発信量と頻度には課題が残っているため、2021年度以降も継続課題として、発信量・頻度の増加に取り組んでいく。

②健康・発育発達・作務などをキーワードにしたセミナーの企画立案（試験的に東京で実施）

→上記①の取り組みにおける研究にとどまっており、具体的な企画立案には至らなかった。2021年度も継続課題として、対面型・オンラインセミナー両面の可能性を模索していく。

(3) 発信力の高い組織づくり

①SNS発信の強化（個人の魅力を発信、動画コンテンツの充実等）

→支部長・監督『在宅研修用資料』において、広報に関する単元を設け、所属長のSNS活用を促すとともに、留意事項を確認した。本部からの発信についても、職員のSNS発信にグループとして公認を与える研修制度を確立した。

実際の発信量・頻度・内容については、2021年度以降も継続課題として観察し、必要な対応を行っていく。

②各行事への動員を強化（研修会・講習会等の一覧化、チラシの配布等）

→新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、行事開催がほぼ全て中止となった。しかしながら、2021年2月に開催した学生指導研修会はオンライン、受講費10,000円にも関わらず、157名の受講申込を得た。このような状況だからこそ、研修・講習に対するニーズが高まっていると肯定的に捉え、2021年度以降も、利便性と質、安全・安心の向上をテーマに取り組んでいく。

(5) 普及活動の促進

②入会、継続、復帰の会員のため、魅力ある指導者&活気ある支部づくりの促進、広報活動

→支部長・監督『在宅研修用資料』にて展開した。

③小・中学生の継続率向上、中学・高校のクラブ増加のための教職員支部との連携

→達成不十分ではあるが、2021年度より「振興普及ネットワーク委員」を立ち上げ、総体的な継続率向上のための施策検討・情報収集を行い、2022年度より具体的な施策を実行していく。

④中学校武道必修化の採択校の促進、体験教室等の開催促進

→2019年度採択校 52校 / 2020年度採択校 59校

当法人の加盟する日本武道協議会の提唱により、必修化する武道を一つに限らない「複数授業選択制」の導入が始まり、第二の選択肢として少林寺拳法に対する注目が高まった。2021年度は、授業内容の充実に加えて、採択校増加のための具体的かつ組織的な取り組みのガイドラインを策定していく。

⑥中高年齢層の体調にあったソフトな修練指導法の紹介

→シャイニングフェスタの取り組みにおける研究にとどまっており、具体的な企画立案には至らなかった。2021年度も継続課題として、対面型・オンラインセミナー両面の可能性を模索していく。

⑦会報のリニューアルと活用促進

→2020年春号より誌面を刷新。2021年度は、読者参加型の企画・世代横断の記事など、更なる充実を図っていく。

⑨立合評価法のルール統一と審判員精度向上、並びに防具開発

→新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、関東でのみ形態を変えて実施。2021年度以降も継続課題として取り組んでいく。

(6) ガバナンス

社会からの信頼を得るためのガバナンスについて、総合的バランスを総覧しながら、当連盟の目的達成との両立を慎重に検討し実施する。

→新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、安全・安心の修練に対応するためのガイドライン策定、緊急時フローチャートなどを作成し、危機状況下でのガバナンス構築を行った。(グループ連携事業)

以下、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、達成不十分な事業。2021年度以降も継続課題として取り組んでいく。

(4) 時代に即応した組織体制

- ①指導者の負担軽減(複数指導者体制、副支部長制度、事務手続き削減、権限委任)
- ②学生指導者体制の見直し(支部長資格を持つ監督と若手学生指導員の研修充実)
- ③若手、女性、専門性を持つ指導者の発掘と育成

(5) 普及活動の促進

- ①学域、職域の普及促進。警察支部の開設
- ⑤クラブリーダー研修と交流会の実施
- ⑧行事の参加者や参観者に、楽しんでもいただくとともに、少林寺拳法の本質や特性について興味関心を持っていただけるよう企画を行う。
- ⑩販売事業増収のための、原価抑制対策と新物品の開発
- ⑪支援者、賛助者の獲得促進

Ⅱ 各事業報告及び事業内容

1. 少林寺拳法の普及及び指導に関する事業

【1】大学少林寺拳法部連盟本部幹部研修会／合宿 【中止】

- 1 期 日 幹部合宿A週 2021年 2月24日(水) ～ 2月27日(土)
B週 2021年 3月 2日(火) ～ 3月 5日(金)
※その他、各地区において実施予定。期日未定。
- 2 目 的 ・少林寺拳法創始目的や在り方の理解を深め、各種技能の向上を通して、生きる力を養い人間力を強化する。
・合宿内での相互交流による自浄作用を図り、仲間づくりを行う。
・社会人として有用な、普遍的な学びを深める。
- 3 対 象 大学少林寺拳法部所属の現役個人会員
※幹部合宿においては、2021年度幹部対象。
18歳以上の個人会員（高校生除く）

【2】大学少林寺拳法部地方開催合宿 【中止】

- 1 期 日 北海道 2020年 9月11日(金) ～ 9月13日(日)
※その他、各地区において実施予定。期日未定。
- 2 目 的 ・少林寺拳法創始目的や在り方の理解を深め、各種技能の向上を通して、生きる力を養い人間力を強化する。
・合宿内での相互交流による自浄作用を図り、仲間づくりを行う。
・社会人として有用な、普遍的な学びを深める。
- 3 対 象 大学少林寺拳法部所属の個人会員
18歳以上の個人会員（高校生除く）

【3】中学校保健体育における武道授業推進活動

- 1 目 的 日本の未来を担う多感な中学生が少林寺拳法を知り、親しむことで、伝統文化を尊重し、それらをはぐくんできた母国と郷土を愛するとともに他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことや生涯に渡って武道・スポーツを愛好する態度を養う事で、社会が抱える課題解決に向けて寄与できる推進を行う。
- 2 目 標 全国で100校の採択を目指す。(政令指定都市を重点課題とし、1都道府県当たり2校)
- 3 方 法 採択校増加に向けた取り組み
(1) 地域の武道授業コーディネーターの資質向上とその役割
都道府県推進委員に中学校武道必修化の価値と採択の手順、採択時の運営について理解をいただき、推進を県内に呼びかけていただく。
(2) パイプラインの強化
各都道府県連盟において、中学校保健体育における武道授業の指導者リストをブラッシュアップする。指導者リストは地域で管理すると共に毎年役職者報告書と併せて報告するものとする。
(3) 行政等、外部団体との連携

- ・宗道臣デーをはじめとする地域貢献活動等、各所と繋がりをもつと共に、深い関係づくりを行い、地域から認められる少林寺拳法の土壌を築く。
- ・都道府県推進委員が各都道府県、市区町村の教育委員会へ赴き、既存の授業採択武道とともに重複授業申請を行い、かつ、教育委員会や学校等から要請があった時、採択に向けてのコーディネートが出来るようにする。
- ・一財連盟では、スポーツ庁、教育委員会、日本武道館等と密な連携を図り、共催行事において効果のあるプログラムの提案や実行、その他、推進に繋がる情報交換を行う。
- ・地域との連携においては、都道府県推進委員の相談に応じて支援を行う。

(4) 各行事の開催

- ・授業採択および実施に向けた指導員の発掘・養成。
- ・少林寺拳法未経験の教員を含めた、受講者の授業実施へ向けた指導技術やノウハウの共有、充実を図る。
- ・「中学・高校体育授業指導者資格」を発行する。
- ・授業採択校の指導法、つまずき等を集約し、受講者へ共有、解決に努める。

4 総 括

これまで70校の中学校で少林寺拳法授業が実施され、防具や道着が不要、且つ床面（用具・施設）の条件もなく短時間で安全に実施ができることから好評を得ている。

2020年度は、武道複数種目の扱いで、二種目目としての採択、また新型コロナウイルス感染症対策の観点（相手との接触が無く、三密を避けやすい種目）として、少林寺拳法を採択する学校が増加した。また生徒に取り組みやすく、安全かつ効果的な指導が充実できるということで理解を得られた。加えて、特別研修会を実施し、授業コーディネーターを養成することで、地域における実態に応じた情報提供や指導に関する支援体制を強化することができたことも、指導の充実に繋がった。

2021年度は、地域や学校の要望やその特性に応じて、各都道府県連盟の外部指導者をより活用しやすく、円滑に運用が図られるようにする。具体的案として、「武道授業コーディネーターと外部指導者の正確な数を明らかにすること」「新学習指導要領やGIGAスクール構想といった新しい時代に即応した分野の専門的知識や授業指導力を元にした調整力が発揮できること」等を目的に資質を高めるコーディネーターの研修を行う。

その他、課題となっている外部指導者及びコーディネーターの成功事例（実践例）を少林寺拳法連盟が円滑に集約し、共有できるようにするため、GIGAスクール構想を視野に入れた方法を確立する。また、地域の競技団体・地域社会との連携が上手くいかない具体的な課題を抽出し、支援強化をしていく。

2. 指導者の養成事業

【1】支部長・監督研修会 【※集合型研修会は中止】

1 期 日	2020年 5月16日（土）	～	5月17日（日）本部
	〃	5月23日（土）	～ 5月24日（日）東日本

【代替実施】

中止に伴う代替研修として、オンラインを活用した在宅研修を実施した。

紙資料と動画資料の配信を行い、今日必要な事項（支部長としての基本認識、各種ハラスメント防止、ガバナンス、コーチング、広報、基本技術、等）を網羅して学んでいただいた。

全配信終了後には、資料を通読してのレポート提出を義務とし、レポート受理により2020年度支部長・監督研修会の受講を完了とした。

また、支部長資格更新時期に該当する支部長は、提出されたレポートをもって更新審査とした。

1 期 日	5月16日～12月16日（毎月1日、16日に発信）計15回
2 対 象	支部長・監督
3 内 容	5月16日：会長挨拶、支部長・監督の基本認識 6月 1日：技術資料 16日：活気ある支部（部活）づくり・重要伝達事項 7月 1日：発達障がい（神経発達障がい）の基礎知識 16日：リスクマネジメント 8月 1日：技術セミナー動画① 16日：コーチング動画①「指導技術の向上（コーチングの基礎）」 9月 1日：コーチング動画② 「コーチングスキルを取り入れたコミュニケーション講座」 16日：コーチング動画③ 「ペップトーク」、ガバナンス（インテグリティ） 10月 1日：時代に合わせた支部の活動展開 16日：広報について 11月 1日：広報について（動画） 16日：指導法共有動画①（柔法運用法について） 12月 1日：柔法法形について（動画） 16日：技術修練に関するまとめ
4 研 修 費	無料
5 構 成	紙資料、映像資料（YouTubeの限定公開を使用）
6 総 括	オンラインでの配信については、当初は戸惑いもある中でのスタートであったが、発信が進むにつれ徐々に適応してゆき、内容に加え、いかに見やすく理解しやすい資料デザイン（動画配信）にしていくのか、新たな視点からの資料作成に注力することができた。

また終了後のレポート提出より、支部長・監督の先生方が真剣に取り組まれた様子がわかり、成功であったと感じている。

今後も状況に応じて、対面型に加え、オンライン配信も充実させることで、受講者の利便性を図っていく。

【2】少年部指導者研修会【中止】 ※中止に伴う対応は【1】と同様

- 1 期 日 2020年 6月 6日(土) ～ 6月 7日(日) 本部
" 7月 4日(土) ～ 7月 5日(日) 東日本
- 2 目 的 少年部会員の指導現場における環境改善のため、少年部指導の要点の確認とともに、指導技術の向上と共有化を図り、かつ、地域における振興普及に取り組む体制づくりを行う。
また、少年部指導にあたって注意すべき、安全管理・保険加入、体罰・ハラスメントの撲滅の徹底を図る。
なお、支部長研修会を兼ねるため、その要点の確認を行う。
以て、多くの拳士を惹きつけ続ける指導者像を掴む機会とする。
- 3 対 象 スポーツ少年団支部長及び16歳以上で初段以上の現役個人会員
※スポーツ少年団支部長は受講義務。
※幹部拳士との合同受講を推奨する。

【3】支部長資格認定研修会 【※集合型研修会は中止】

- 1 期 日 2020年 4月25日(土) ～ 4月26日(日) 東日本
2020年 5月16日(土) ～ 5月17日(日) 本部
2020年 5月23日(土) ～ 5月24日(日) 東日本
2020年 6月 6日(土) ～ 6月 7日(日) 本部
2020年 7月 4日(土) ～ 7月 5日(日) 東日本
2021年 2月 6日(土) ～ 2月 7日(日) 本部
<大学監督のみ>
2021年 2月25日(木) ～ 2月26日(金) 本部
2021年 3月 3日(水) ～ 3月 4日(木) 本部

【代替実施】

- 1 期 日 前期(4月～7月 ※案内からレポート締切まで)
後期(12月～2月 ※案内からレポート締切まで)
- 2 目 的 支部長・監督の使命と課題を明確にし、一財連盟の支部運営に必要な知識及び少林寺拳法の指導法と学生指導の指導技術の向上を目指した内容の研修により、支部の増加と活気ある部活づくりを目指す。
以て、多くの拳士を惹きつけ続ける指導者像を掴む機会とする。
- 3 対 象 支部・少林寺拳法部の設立・交代希望者、副支部長・コーチで希望者
- 4 総 括 本年度予定していた集合型研修会はすべて中止となったため、在宅研修にて確認できる内容を行い、レポートの審査合格者を準認定とした。
初めての試みであり、一部受講者においてはレポート内容不備による再提出依頼などが生じたが、個別にフォローすることで全受講者を受理完了(準認定付与)することができた。
該当者の面接・技術などの審査は2021年度研修会参加時(必須)に行うものとした。

【4】支部長資格仮認定研修会(学生対象) 【中止】

- 1 期 日 大学少林寺拳法部連盟本部幹部研修会／合宿期間中
※地方開催の合宿は除く。

- | | | |
|---|-----|--|
| 2 | 目 的 | 支部長・監督の使命と心得、一財連盟の支部・少林寺拳法部運営に必要な知識を修得する。 |
| 3 | 対 象 | 大学・短大少林寺拳法部（大学扱いの高専も含む）の部員
（大学２年生以上かつ初段以上の現役会員） |

【５】学生指導者研修会

- | | | |
|---|------|--|
| 1 | 期 日 | ２０２０年４月２５日（土）、２６日（日）東日本 【中止】
２０２１年２月７日（日） 【リモート開催】 |
| 2 | 目 的 | <ul style="list-style-type: none"> ・学生の指導現場に必要な知識、学生の可能性を伸ばすプログラムを提案し、学生指導に活用いただく。 ・プレ社会人である学生の継続性を高める指導を目指す。 ・「学生指導者のガバナンス研修」として、一財連盟としての伝達研修を行う。 |
| 3 | 対 象 | 満２２歳以上、二段以上の者 |
| 4 | 内 容 | （１）技術１（川島会長）
（２）技術２（井上所長）
（３）指導技術向上プログラム
・大学生の現状把握、指導体制、暴力・体罰・ハラスメント、薬物使用根絶、広報勧誘等について |
| 5 | 参加人数 | １５７名 |
| 6 | 総 括 | 一財連盟初のリモートでの研修会であったが、リピーターや新規も含め、多くの受講者が参加し、チャット機能でのアンケートからも満足度が伺えた。ZOOMの画面上だからこそアップで注視できるポイントもあり、より理解を深める特性があることが分かった。パワーポイントを使用した講義も同様に言える。

また、受講者に再学習の録画映像を配布することができた。次回は、企画にゆとりを持ち、広報に力をいれ、グループワークも盛り込むことで、リモートでもより活動的で有意義な研修会が期待できる。 |

【６】全国指導者研修会（全国中高武道授業指導者研修会） 【中止】

- | | | |
|---|-----|---|
| 1 | 期 日 | ２０２０年 ９月１９日（土） ～ ９月２１日（月・祝） |
| 2 | 場 所 | 千葉県勝浦市（日本武道館研修センター） |
| 3 | 目 的 | <ul style="list-style-type: none"> ・中高授業の指導スキル習得 ・中学校武道授業の価値、役割について理解する |
| 4 | 主 催 | 公益財団法人日本武道館・一般財団法人少林寺拳法連盟 |
| 5 | 対 象 | （１）中学校及び高等学校の保健体育教員
（２）外部指導者またはその候補
（３）都道府県連盟の推進委員または中学武道授業を推進していただける方
（４）少林寺拳法未経験の教員
（５）教員志望の大学生 |

【７】学校少林寺拳法実技指導者講習会 【中止】

- | | | |
|---|-----|--|
| 1 | 期 日 | 実施未定 |
| 2 | 目 的 | 平成２４年度より実施された中学校保健体育科における武道必修化において、武道が日本で体系化された武士道の伝統に由来する我が国固有の文化 |

であることや、授業の目的を正しく理解し、青少年が人格形成および「生きる力」を養うことが出来るよう、講義・実技・討議等を行い、指導者の育成をする。また、中学校、高等学校の部活指導における資質と安全かつ技術力向上を図るための講義・実技・討議等を行い、学校における武道指導の充実に資する。

A 中高部活動指導者（支部長研修）※実施未定

- ・中高の指導現場に即した教えと技法の習得

- ・生徒への人間力向上、楽しく長続きする練習法の共有、指導力の向上

B 中高授業指導者（武道授業）

- ・授業実施に必要な指導計画と指導法の伝達

- ・生徒のライフスキル向上に向けた実践例等の共有

3 主 催

スポーツ庁・一般財団法人少林寺拳法連盟

4 対 象

(1) 中学校及び高等学校の保健体育教員

(2) 外部指導者またはその候補

(3) 都道府県連盟の推進委員または中学武道授業を推進していただける方

(4) 学校の少林寺拳法部長・監督等やそれを目指す者
(外部指導者を含む)

(5) 教員志望の大学生

【8】中学校武道授業推進特別研修会

1 期 日 2021年 1月31日（日）

2 場 所 リモート開催

3 目 的

- ・コロナ禍の実践例報告

- ・中学校新学習指導要領の完全実施に伴う研修

- ・具体的実践例や授業化実現のノウハウ等を発表・情報共有を通じて、地域ごとの課題発見やアクションプランを作成。

- ・各都道府県の武道授業推進委員等が各地の教育委員会や学校に積極的広報ができるように研修を行い、武道授業コーディネーターを養成。

4 主 催

一般財団法人少林寺拳法連盟

(スポーツ庁／武道等指導充実・資質向上支援事業)

5 対 象

都道府県連盟の武道授業推進委員またはその代理

6 事業内容

(1) 授業コーディネーターの養成

学校・教育委員会などとの連携、情報共有、課題抽出と検討を行い、各地域の授業コーディネーターリストを作り、教育支援人材が紹介できる体制づくりを行った。

(2) 授業運営支援

学校の状況に応じた授業支援や調整、武道複数種目の実施の要請に対応できるよう授業実施のための研修を行った。

(3) 指導者リストの作成

都道府県連盟の理事長、事務局長、推進委員（授業コーディネーター）に自身の都道府県下における指導者リスト作成を依頼し、各地域での管理を依頼した。

(4) 事業推進ガイドラインの作成

既に実施された授業で得た経験知や研究成果、特別研修会等で共有された情報・知識・技能・指導技術および外部有識者の知見を集約した内容をもとに指導法ガイドラインを中学校武道必修化委員会で編成・作成した。

- 7 実施内容
- (1) 採択の現状
 - (2) 事例報告①江戸川区立小岩第三中学校
 - (3) 事例報告②高知県少林寺拳法連盟
 - (4) 事例報告③世田谷区立三宿中学校
 - (5) 新学習指導要領に基づく評価法および指導法
 - (6) 一般財団法人少林寺拳法連盟から授業モデルの提案
 - (7) 意見交換会

8 参加人数 47名

9 総括 リモート開催ということもあり、例年より10名程度受講者が増加した。また、実施したアンケートにより、「リモートでもグループワークができたことは新しい体験でしたし、思った以上にスムーズでした」「武道授業モデル校で複数武道を採用していることを知りました」「授業モデルに習得型と探求型の二つがあることを知りました」等といったように、リモートへの意識変革や知識の定着が伺えるコメントがあった。来年度に向けて行動できそうなこととして、「県連とより密に連携しながら進めていく」「県連と教育委員会の関連性を強めて、まずは1校の実施を目指します」「授業というハードルを超えなくても、教室という形から認知度を上げる取り組みも参考にしたい」等、地域の段階に応じた前向きなコメントが寄せられた。

次年度は、単独でも運動を伴ったり、グループワークがより活動的に行える工夫をし、スポーツ庁委託事業として国の意向、日本武道協議会の決議書、一財連盟の推進の目的の三方を捉え、社会に役立つ事業として、より詳細な工夫が求められる。

【9】運用法研修会 【中止】

1 期 日 2020年 8月 ～ 2021年 3月（予定）

2 目 的 ・地方において、剛法運用法の研修会を実施する。
⇒都道府県大会において運用法が安全に実施できるようにする。

理由：大会において運用法を実施していない都道府県連盟が多く、全国大会の運用法参加者が限られた県となっているため、普及促進を図り、より多くの拳士が出場できるようにする。

3. 各種大会、講習会、研修会及び研究会等の開催

並びに指導員の派遣に関する事業

【1】少林寺拳法全国大会 【中止】

1 期 日 2020年10月24日（土） ～ 10月25日（日）

2 場 所 大阪府（丸善インテックアリーナ大阪（大阪市中央体育館））

3 目 的 各都道府県代表の会員が、日頃の修練の成果を論文、演武にて発表し、共に学び合う。大会テーマ「自己確立 自他共楽～咲かそう笑顔 つな

げよう未来～」のもと、大会に集う全ての拳士が自身の修練の原点、目標を明確にし、今後の修練の糧とする。

- | | | |
|---|-----|---|
| 4 | 方 針 | 大会予算については助成金を活用し、主管連盟内の各所属や拳士に新たな負担を求めない。また、式典の簡素化を行い、華美な設営等は控える。 |
| 5 | 主 催 | 一般財団法人少林寺拳法連盟 |
| 6 | 主 管 | 大阪府少林寺拳法連盟 |
| 7 | 対 象 | 一般財団法人少林寺拳法連盟の現役個人会員 |

【2】シャイニングフェスタ 【中止】

- | | | |
|---|-----|--|
| 1 | 期 日 | 2020年10月 3日（土） ～ 10月 4日（日） |
| 2 | 場 所 | 金剛禅総本山少林寺 |
| 3 | 目 的 | 健康寿命に貢献するため、「少林寺拳法健康プログラム」を、クラブ展開だけではなく、既存の支部内や、一般の方にも体験を促す機会とする。また、中高年齢者の参加について、「若者と一緒のメニューでは無理がある」と言う方のために、無理なく、体を傷めず、健康が増進できる修練方法を紹介する。
以て、人が元気で輝き続けられるよう、健康クラブの指導者や会員、中高年の拳士、一般市民の皆さま方と一緒に、健康プログラムを中心に、健康について楽しく考える機会とする。 |
| 4 | 主 催 | 一般財団法人少林寺拳法連盟 |
| 5 | 対 象 | 健康クラブのクラブリーダー、MC資格取得者
健康や健康プログラムに興味のある、拳士、引率同行者、一般市民 |

【3】全国高等学校少林寺拳法大会

（兼 令和2年度全国高等学校総合体育大会少林寺拳法競技大会） 【中止】

- | | | |
|---|-----|--|
| 1 | 期 日 | 2020年 8月18日（火） ～ 8月21日（金） |
| 2 | 場 所 | 埼玉県立武道館（埼玉県上尾市） |
| 3 | 目 的 | 全国の高等学校における少林寺拳法部間の親睦交流と、技術の向上をはかり、少林寺拳法の正しい姿を一般に公開して、高校生として健全な精神と肉体を育成する。 |
| 4 | 主 催 | 一般財団法人少林寺拳法連盟、公益財団法人全国高等学校体育連盟 |
| 5 | 対 象 | 一般財団法人少林寺拳法連盟の現役個人会員（高校生） |

【代替大会】

令和2年度全国高等学校少林寺拳法インターネット大会（動画審査）

- | | | |
|---|------|--|
| 1 | 期 日 | 2020年8月1日（審査）、8日（結果発表） |
| 2 | 審査会場 | 少林寺拳法連盟、神奈川県 |
| 3 | 内 容 | ・単独演武の部
・発表の部（※ムービー、フォトを採点する） |
| 4 | 主 催 | 一般財団法人少林寺拳法連盟 |
| 5 | 主 管 | 公益財団法人全国高等学校体育連盟少林寺拳法専門部 |
| 5 | 対 象 | 一般財団法人少林寺拳法連盟の現役個人会員（高校生3年生） |
| 6 | 参加者数 | 164名（単独演武の部：128名、発表の部：36名） |
| 7 | 総 括 | 密（移動含む）を避けるため、2会場に分けて同時刻に審査を行った。また公正を期すために、高体連専門部、本部審判員の協力のもと、通常の大 |

会と変わらず厳正な審査が行い、一定基準を満たした参加者に優秀賞を授与した。

予算の限られる中での実施であり、記念Tシャツ売上収益の一部を大会運営に補填するなど、様々な努力の上で実施、成功できたことにより、以後のオンライン大会における一つの指標となった。

【4】全国高等学校少林寺拳法選抜大会

- | | | |
|---|------|---|
| 1 | 期 日 | 2021年 3月26日（金） ～ 3月28日（日） |
| 2 | 場 所 | 香川県（善通寺市民体育館） |
| 3 | 目 的 | 個人会員（高校生）が、日頃の修練の成果を弁論、演武にて発表し共に学び合う。また、技術講習を通して技術の向上はもとより、全国の拳士との横の繋がりを実感し、少林寺拳法の魅力を再確認する。 |
| 4 | 主 催 | 一般財団法人少林寺拳法連盟、公益財団法人全国高等学校体育連盟少林寺拳法専門部 |
| 5 | 対 象 | 一般財団法人少林寺拳法連盟の現役個人会員（高校生） |
| 6 | 参加人数 | 183校 850名 |
| 7 | 総 括 | 前回大会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に中止となり、2年ぶりの開催であった。コロナ禍以降初の全国規模の大会開催ということもあり、安全・安心な大会運営を目指し、肝となる感染症対策に多くの検討・準備時間を要した。
具体的には、会場の収容率を下げる方策として、予選会場を2ヶ所・午前午後の地区別4グループの分散開催、入館時のサーマルカメラでの検温、健康観察チェックシートの把握（大会2週間前からの検温記録）、競技前後の手指消毒・膝から下（主に足底）の消毒、演武時以外のマスク着用の徹底などを実施。
大会終了後の2週間、全ての大会参加者の体調不良や感染の疑いの報告が無く、無事に終了することができた。
今後のコロナ禍での少林寺拳法における、大会のモデルケースにもなっていくと実感した。 |

【5】全国中学生少林寺拳法大会 【中止】

- | | | |
|---|-----|--|
| 1 | 期 日 | 2020年 8月21日（金） ～ 8月23日（日） |
| 2 | 場 所 | 広島県（広島県立総合体育館（広島グリーンアリーナ）） |
| 3 | 目 的 | 個人会員（中学生）が、日頃の修練の成果を論文、演武にて発表し共に学び合う。また、技術講習を通して技術の確認はもとより、全国の拳士との横の繋がりを実感し、少林寺拳法の魅力を発見する。 |
| 4 | 方 針 | 収入に見合った大会運営を行う。 |
| 5 | 主 催 | 一般財団法人少林寺拳法連盟、全国中学校少林寺拳法連盟 |
| 6 | 対 象 | 一般財団法人少林寺拳法連盟の現役個人会員（中学生） |

【6】少林寺拳法全日本学生大会

- | | | |
|---|-----|----------------|
| 1 | 期 日 | 2020年11月 8日（日） |
| 2 | 場 所 | 日本武道館 |

- | | | |
|---|------|---|
| 3 | 目 的 | 学生会員が日頃の少林寺拳法の修練の成果を発表し、共に学びあう。 |
| 4 | 主 催 | 全日本学生少林寺拳法連盟 |
| 5 | 対 象 | 大学少林寺拳法部所属の現役個人会員（大学生） |
| 6 | 参加人数 | 58校 476名 |
| 7 | 総 括 | 「愛と平和」をテーマに、感染症対策を徹底した「ウィズコロナ」の時代に対応していく大会を目指した。例年実施される団体演武や立合評価法は実施せず、単独、組演武、三人掛の3部門のみ、計16種目とした。また審判も通常の5人制ではなく、3人制を採用し、午前・午後で拳士を入れ替える2部制で開催された。表彰においては、総合点300点満点のうち、基準点（段外255点、有段258点）以上に達した拳士全てに賞状を授与する特別方式が採られた。入場口には体温測定器を設置し、手指消毒を実施した。気合が禁止される中、BGMとして少林寺拳法のテーマソングを流し、いつもと違った雰囲気でもそれぞれの真剣な演武が披露された。大会の様子は、大学スポーツ協会【UNIVAS】の撮影が入りHPで紹介されている。同団体からの支援として、体温測定器やアルコールなども提供いただいた。
https://www.univas.jp/project/match_video/shorinji-kenpo/ |

【7】全自衛隊少林寺拳法大会

※オンラインによる大会「令和2年度全自衛隊少林寺拳法WEB大会」として実施

- | | | |
|---|-----|--|
| 1 | 期 日 | 2021年 3月14日 |
| 2 | 目 的 | 自衛隊少林寺拳法部所属の会員が日頃の修練の成果を発表し、共に学びあう。（動画審査を実施） |
| 3 | 主 催 | 全自衛隊少林寺拳法連盟 |
| 4 | 対 象 | 自衛隊支部所属の現役個人会員 |
| 5 | 総 括 | 自衛隊連盟の今回の取組みは、通常の大会と同様の進行で動画を編集したことで、実際の大会を観覧しているような臨場感をWEB上で表現することができた。本大会を通じて、オンラインは、勤務形態の異なる隊員拳士が、それぞれの勤務地に居ながらにして、修練の成果を確認・発表する有効なツールに成り得るものであり、今後の活用に期待ができると実感した。 |

【8】全日本実業団少林寺拳法大会（全日本実業団連盟設立50周年記念）

【延期 ※2021年度実施予定】

- | | | |
|---|-----|-------------------------------------|
| 1 | 期 日 | 2020年11月22日（日） |
| 2 | 場 所 | ベイコム総合体育館（兵庫県尼崎市） |
| 3 | 目 的 | 実業団少林寺拳法部所属の会員が日頃の修練の成果を発表し、共に学びあう。 |
| 4 | 主 催 | 全日本実業団少林寺拳法連盟 |
| 5 | 対 象 | 実業団支部所属の会員 |

【9】各種大会

- | | | |
|---|-----|---|
| 1 | 期 日 | 2020年 4月 ～ 2021年 3月
各地区連盟、学生連盟大会等（連盟本部申請件数：49大会） |
|---|-----|---|

【10】各地区学生少林寺拳法連盟合宿 【中止】

- | | | |
|---|-----|-----------------------|
| 1 | 期 日 | 2020年 4月 ～ 2021年 3月 |
| 2 | 目 的 | 各地区における連携の強化 |
| 3 | 対 象 | 各地区の大学少林寺拳法部所属の現役個人会員 |

【11】2020年度少林寺拳法オンライン講習会 ★新事業

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 期 日 | 2020年10月 9日（金） ～ 2021年3月26日（金） |
| 2 | 目 的 | コロナ禍において、オンラインを通じて少林寺拳法の魅力や楽しさ、そして元気を取り戻せるような内容を届ける。 |
| 3 | テ ー マ | 拳理体感 ～技術から「生き方」を学ぶ～ |
| 4 | 仕 様 | オンライン配信（リアルタイムではなく、事前に撮影した編集動画を配信）
配信回数／週1回（全24回） |
| 5 | 受 講 者 | 720名（北海道から沖縄県まで） |
| 6 | 主 催 | 一般財団法人少林寺拳法連盟（東京事務所） |
| 7 | 講 師 | 井上 弘 |
| 8 | 受講対象 | 中学生以上の現役個人会員（資格不問。初心者の方も受講可能） |
| 9 | 総 括 | 第1回目の緊急事態宣言発令後、各種大会・講習会・研修会他、対面の修練が中止となった。そのような中、会員との繋がりを継続する為に講習会では、過去の機関紙で掲載された「拳理体感」をテーマに基礎から応用の内容を動画配信した。加えて毎回、動画配信、参考テキスト・アンケートを配信し、受講者からの質問、意見、要望等に対応しながら、6ヶ月間に亘り実施した。 |

【12】オンラインLive修練 ～コロナ禍を吹っ飛ばせ～ ★新事業

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 期 日 | 2021年 3月14日（日）13：00～16：00 |
| 2 | 目 的 | コロナ禍において、オンラインを通じて身心の活力と修練に役立つプログラムにより、修練に対する意欲向上と同志的連帯感の高揚を目指す |
| 3 | テ ー マ | ～コロナ禍を吹っ飛ばせ～ |
| 4 | 仕 様 | オンライン（ライブ配信）／全国の参加者とリアルタイムにて同時修練 |
| 5 | 参 加 者 | 182名（北海道から沖縄県まで） |
| 6 | 主 催 | 一般財団法人少林寺拳法連盟（東京事務所） |
| 7 | 講 師 | 井上 弘 |
| 8 | 受講対象 | 中学生以上の現役個人会員 |
| 9 | 総 括 | 事前に撮影した編集動画を配信する「オンライン講習会」とは異なり、参加者とリアルタイムで少林寺拳法の技術、教えを共有し、共に汗を流す「オンラインLive修練」。コロナ禍において、北海道から沖縄までの指導者、拳士がオンラインを通じて一堂に会し修練した。段位は、五段以上の拳士が多かったが、見習い・級拳士も共に参加。参加者からの質疑にはその場で回答するなど、リアルタイムでの強みを生かした修練となった。 |

4. 会員の承認及び会員に対する指導・助言

【1】理事長研修会

- 1 期 日 2020年 5月
- 2 目 的 都道府県連盟・各連盟の理事長の使命と立場の確認、及び、一財連盟との関係強化を図り、組織として統一のとれた活動による振興普及を目指す体制づくりを行う。
- 3 対象者数 4名
- 4 内 容 都道府県連盟・各連盟理事長としての使命と役割、運営の在り方、事務要領について事前レポート審査を実施した。
- 5 総 括 ここ4年間、新任理事長に対してはレポート提出をもって審査としているが、概要は学んでいただけていると感じているが、一方で直接言葉を交わすことも必要だとも考えている。今後は、オンライン上で対面形式での挨拶なども取り入れていくことを検討する。

5. 少林寺拳法の技術指導・学科指導・指導技術に関する調査・研究

指導者の指導力向上のため、技術指導、学科指導、指導技術の向上を目指した。

- 1 教材・指導書・技術DVD等の企画・制作
- 2 新型防具（胴）・技術上達のための道具の開発
- 3 拳士の立合評価法技術の向上のための修練法の展開
- 4 立合評価法競技、審判員の育成及び普及活動
- 5 立合評価法・運用法の修練法、指導法に関する資料・DVDの企画・製作
- 6 指導技術、その他必要な事項に関する調査、研究

6. 少林寺拳法に関する機関紙及び図書等の発行

【1】少林寺拳法普及の機会を広げ、支援・協力者（団体）を増やしていく

少林寺拳法の広報活動推進を積極的に図り、関係団体の拡張及び協力体制の強化に努める。

- 1 地元（香川県）での足固めを強固に行い、各方面との結びつきを強める。
当該年度は、新型コロナウイルスの影響により、多度津町の各種イベントが軒並み中止となった。そんな中、2021年2月1日には、【多度津町と金剛禅総本山少林寺及び一般財団法人少林寺拳法連盟との包括的連携・協力に関する協定書調印式】が行われ、今後多度津町との更なる連携が図られていく。
- 2 当法人の活動行事等に対して、マスコミ取材への協力及び有効活用を図る。
2021年3月に行われた全国高校選抜大会では、各種マスコミへ新型コロナウイルスの感染防止策や、大会結果等の公表を広く行った。
- 3 普及活動に繋がる見学・表敬訪問・研修等各種団体の受入れ
当該年度は、新型コロナウイルスの影響により、広く受け入れや訪問などは行っていない。
2020年11月は、京都翔英高等学校の本部修練を受け入れた。また2021年3月の全国高校選抜大会では、感染防止を徹底して、可能なかぎりの見学対応を行った。

【2】出版その他

一般財団法人少林寺拳法連盟から発信される情報を正しく会員に知らせ、少林寺拳法に対する正しい理解と普及を図るために次の活動を行った。

- 1 『会報少林寺拳法』の刊行（年4回の季刊発行）
 - （1）拳士の声を広く集め誌面に活かし、会員全体で誌面を創りあげていく。
 - （2）読者がワクワクする仕掛けづくりを行う。
 - （3）より多くの拳士にスポットを当てていく。
 - （4）指導者間で共有できる事例を取り上げていく。
 - （5）多角的に情報を発信していく。
- 2 一財連盟ホームページの運営
 - （1）見やすいホームページの作成を目指す。
 - （2）閲覧者を増加させる。
⇒会報などとタイアップする。
- 3 Facebook、Instagram、YouTube の運営
新鮮な情報を提供していくと同時に、各種行事のPRも行っていく。
- 4 アプリについて
継続検討内容ではあるが、開発費に加え他法人との足並みを揃えていくこと、且つ紙面媒体発行に根強い要望もあり、現在においては実行段階には入っていない。

7. 青少年教育関係諸団体及び武道、スポーツ団体との交流

【1】関係諸団体との連携

公益財団法人日本武道館、日本武道協議会、日本武道学会、ボーイスカウト育成会、少林寺拳法振興議員連盟、公益財団法人日本スポーツ協会等については、一財連盟の目的に沿った関係構築が必要であり、常に検証を行ってゆく。

また、国際交流基金の国際交流基金賞の推薦を行い、功労指導者を慰労する一助とする。

【2】地域社会での協力

各地域において関係諸団体との協力連携を図る。宗道臣デーや各種行事を通じて積極的な交流促進を図る。

但し、コロナ禍における協力体制構築については、各自治体の意向、判断を優先して実施していく。

【3】世界武道祭 【中止】

「日本武道館増改修工事竣工記念」を冠して行われる『世界武道祭』について、積極的に協力し、日本文化の発信・武道の振興に寄与する。

- 1 期 日 2020年10月10・11日（土・日）
- 2 場 所 日本武道館

8. その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

【1】鏡開き・稽古始め 【中止】

- 1 期 日 2021年 1月10日（日）本部
(※当初の予定：1月10日（日）本部)
- 2 目 的 新年度の活動方針を確認し、新年を祝う。
幅広い年齢・拳士が一同に会して、新年の誓いを確認し合う場とする。
- 3 対 象 本部委員、支部長、監督、会員、来賓、その他関係者
- 4 代替実施 1月17日（日）新春行事として実施し、一財連盟職員も参加した。
模様は、グループ公式YouTubeチャンネルにてライブ配信された。
＜実施内容＞
 - ・師家年頭挨拶
 - ・金剛禅総本山少林寺／新春法会を職員のみで参列で実施同日、会長年頭挨拶を、連盟公式HPに公開した。
- 5 総 括 新型コロナウイルス感染症拡大に応じて、実施日の変更、地域の限定（四国4県、岡山県の所属長のみで案内）、職員のみと徐々に限定しながら実施を模索したが、直前に中止とし上記の通り新春行事として実施した。
感染症対策においては、実行委員会として常に情報共有を行い、不備なく判断が出来たのではないかと考える。
新春行事自体もオンラインライブ配信を実施し、対面型の行事が難しい中でも画面越しに雰囲気伝えることは出来たのではないかと感じる。

【2】宗道臣デー（月間）

- 1 期 間 2020年 5月
- 2 内 容 少林寺拳法の理念を、実践を通じて学び取ることを目的として、地域の状況に応じた社会奉仕活動を、全国的に展開する。
具体的活動内容は、支部・少林寺拳法部・県連等の活動団体単位で検討する。本年度は、新型コロナウイルスの影響により各地で自粛が続き、数件の活動報告となった。

【3】本部修練 【中止】

- 1 期 日 2020年 7月26日（日）
2021年 3月14日（日）
- 2 目 的 参加者が本部の雰囲気に触れることで、日々の修練意欲を高揚させる。また、保護者がより少林寺拳法を理解しよき支援者になって頂く。
- 3 対 象 一般財団法人少林寺拳法連盟の現役個人会員

【4】安全管理の充実

一財連盟の活動における阻害要因となるトラブル等を未然に防止し、また発生した危機に対して、最小限の被害で抑えることを目指し、指導者に周知徹底を図る。

本年度も本格的なトラブル対応からクレーム連絡まで、大小問わず問題が発生した。その多くは、支部長・監督と所属拳士または保護者との関係性によるものであり、検証してみると未然防止が可能であった事例が多い。また各種スポーツ、武道界においても指導者によるハラス

メント行為が社会問題となっており、より一層指導者として旧態依然の指導法からの脱却が望まれ、現代に応じたリスクマネジメントが求められる。

引き続き、各研修会、講習会、在宅研修などにおいて、暴力、体罰、各種ハラスメント、ドーピング撲滅、スポーツ指導者の資質向上に向けた取り組みを徹底していく。

加えて職員への伝達研修も実施し、事務局の知識・対応の向上を図る。

【５】日中交流及び国際交流事業

新型コロナウイルス感染症拡大の終息が見られず、国と自治体による大型イベントと県境往來の自粛の呼びかけが続く影響から、具体的な実施時期が設定できないことにより、いずれも企画を延期している。

こうした状況において、グループの日中交流事業の日中双方の対象・窓口に対し、連絡を保った。中国各関係団体とは協力関係を維持し、情報収集に努めた。日本側とは、直近の２０１９年学生訪中団参加者に訪中事務局から記念アルバムを配布し、有志に中国の学生へのメッセージ動画を募集し、双方向での連絡を維持した。これらの活動をベースとして、日中交流プロジェクト委員会にてオンラインでの日中の学生の交流活動の企画が進んでいる。

引き続き、現状に即した形で、各関係団体との友好協力関係の発展と民間交流の促進に取り組む。

１ 中国からの新型コロナウイルス感染症拡大防止のための支援・応援の受入れ

（１）少林寺拳法グループに寄贈された医療用マスクの受入れ

寄贈団体：河南省人民対外友好協会（河南省外事弁公室）

寄贈品：医療用マスク４０,０００枚

到着：２０２０年５月１５日、本部（香川県）

内容：中国国内が新型コロナウイルス感染症拡大の大きな危機に直面していた２０２０年２月に、状況改善の一助になればと、少林寺拳法グループから嵩山少林寺を通じて、河南省の病院へマスクや体温計等の医療機器一式を提供した。この返礼として、日本で首都圏を中心に感染症が拡大した一回目の緊急事態宣言発令時に、河南省人民対外友好協会より寄贈された４万枚の医療用マスク貨物が関西国際空港を通関し、香川県の本部に到着した。貨物のカートンには「与君远相知，不道云海深」（友達同士は、遠くに居ても、互いに距離感を感じず、心が通じ合う。）のメッセージが貼られていた。少林寺拳法グループでは、このメッセージと共にマスクを必要としている日本の各施設・団体に届けたところ、後日、有効に活用されたとの感謝状が寄せられた。

（２）中国の若者からの励ましの動画の受信

発信元：中日友好協会

贈呈物：少林寺拳法グループとの交流活動に参加した中国の学生からの応援動画

到着：２０２０年５月８日、国際交流部門にてE-mailを受信

内容：中日友好協会の受入れで少林寺拳法を学ぶ大学生・高校生の訪中団が北京訪問の際に交流活動に参加した中国の学生から、日本での新型コロナウイルス感染症の拡大に打ち勝つよう励ましのメッセージ動画が多数届いた。グループ公式ウェブサイトとFacebookにこれらの動画をアップし、基幹システムにお知らせを掲載するとともにダイレクトメールにて金剛禅総本山少林寺と一般財団法人少林寺拳法連盟の全所属長へ周知する広報を行った。これに対し、関係者からは、動画への感謝と共に少林寺拳法グループの民間交流の成果を高く評価する反響があった。

2 2019年学生訪中団参加者との連絡と活動

(1) 写真アルバムの配布

- 対 象 : 「2019日中青少年交流推進元年しめくくりの旅～Shorinji Kempo 大学生・高校生拳士訪中団」の全参加者
- 配布時期 : 2021年1月
- 目 的 : 訪中団の交流活動をまとめた記念アルバムを振り返りの材料としてもらい、今後のグループの日中交流事業への理解と参加への動機づけに役立ててもらうため。
- そ の 他 : 訪中団受入団体である中日友好協会に16冊を贈呈し、交流相手となった北京の大学への提供を依頼し、好評を博した。

(2) 中国の学生へのメッセージ動画の募集と作成

- 対 象 : 2019年に実施された二つの学生訪中団に参加した当時の学生
- 応募結果 : 16の所属・26名の拳士から動画の応募があった。
- 活 用 : 応募動画を日中対訳字幕付き編集完了・中国の関係団体への提供準備中

(3) 日中青年オンライン交流会（仮称）活動の企画

- 企 画 : 日中交流プロジェクト委員会
- 対 象 : ◇ 日本側 2019年の学生訪中団参加者からの選抜
◇ 中国側 鄭州大学日本語学科の学生
連絡窓口 / 河南省政府外事弁公室、鄭州大学
- 進捗状況 : 2020年度内に企画案が完成し、2021年度の実施に向けた実行体制を検討中。

3 関係団体との交流

(1) 鄭州大学

1990年代から鄭州大学日本語学科の学生の日本語学習に役立ててもらうため、少林寺拳法グループから関係者への呼びかけで集まった3万冊の日本語の寄贈図書が所蔵されている鄭州大学アジア太平洋研究センター内の「宗道臣文庫」について、鄭州大学より、施設の掲示スペースに新たなPR掲示板を設置する計画と、関係資料を提供してほしいとの要望があった。これを受け、「宗道臣文庫」設立時のテープカットや訪中団訪問時の見学場面などの写真データと解説文を提供した。

4 海外に指導員・演武者等を派遣し、少林寺拳法の海外普及に貢献する。

(1) 日本武道代表団海外派遣 **【中止】**

- 1 期 日 2020年11月 4日（水）～11日（水）
- 2 場 所 イギリス

【6】理事会

(2020年)

6月 8日（月） 書面決議

- ① 2019年度事業報告書の承認について
- ② 2019年度決算書の承認について
- ③ 理事、監事の選任について
- ④ 評議員選定委員の選任について
- ⑤ 2022年少林寺拳法全国大会主管連盟について
- ⑥ 会報出版計画の再設計について
- ⑦ 定時評議員会開催について

⑧トラブル（報告）について

⑨新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応（まとめ）

6月13日（土）書面決議

①評議員の選任について

7月11日（土）書面決議

①会長の選任について

9月26日（土）ZOOM会議

①2020年度補正予算の承認について

②2020年度重点課題について

③2020年度行事予定について

④会報について

⑤トラブル（報告）について

⑥鏡開きについて

⑦災害対策支援室より報告

（2021年）

1月11日（月）ZOOM会議

①裁判、トラブルについて

②資産運用について

③顧問・参与の任期について

3月21日（日）ZOOM会議

①2021年度事業計画（案）について

②2021年度収支予算書（案）について

③その他　トラブル、ハラスメントについて

【7】評議員会

（2020年）

6月29日（月）書面決議

①2019年度事業報告書の承認について

②2019年度決算書の承認について

③理事、監事の選任について

④報告事項

・評議員の選任について

・2022年少林寺拳法全国大会主管連盟について

・会報出版計画の再設計について

・新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応（まとめ）

10月　8日（木）メールにて報告

①2020年度補正予算

【8】都道府県連盟・各連盟理事長会議

1期	日	2020年	4月26日（日）東日本【中止】
		2020年	5月17日（日）本部【中止】
		2020年	5月24日（日）東日本【中止】
		2020年	6月　7日（日）本部【中止】

2020年 7月 5日(日) 東日本【中止】

⇒中止にともない、別の会議形態を変更する。

2020年10月17日(土)、18日(日) ZOOM 会議

2021年 1月 9日(土) ZOOM 会議

- | | | |
|---|-----|--|
| 2 | 目 的 | 「会長の意思、組織の決定事項等の伝達、各連盟間の意思疎通、情報交換の場」「各連盟からの意見・情報収集の場」とした会議とする。 |
| 3 | 対 象 | 都道府県連盟・各連盟理事長 |
| 4 | 内 容 | (1) 議題審議
(2) 連絡・報告事項
(3) その他 |

【9】少林寺拳法の知的財産の保護に関する事業

- 1 各種研修会、講習会、合宿における VALUE-LEVEL-UP の講義
- 2 都道府県連盟・各連盟の VALUE-LEVEL-UP 推進委員との指導、連携
- 3 支部長の権限委任範囲拡大の周知徹底

【10】事業課活動の拡充

新型コロナウイルス感染拡大により、各支部の活動ができなかったため、袖章をはじめその他商品の販売はかなり少なかった。

秋頃から支部活動も再開したため、徐々に注文も増加してきた。また、年末年始の時期に合わせ、手頃な料金でセット商品を販売したところ、大変好評であった。特に500円(ワンコインセット)の商品は、約300数の注文があった。次年度もセット販売を実施していく予定である。

教材については、在庫数が足りなくなった教材は暫定的に作成したが、今後修練目的を明確にする等、内容吟味の上改定する必要がある。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で先が見えない中での対応であったが、必要とされる教材・商品を提供できるよう、次年度に向けて検討していく。

実施内容

- 1 年末年始に向けてセット商品販売
(ワンコインセット・売れ筋セット・ヤングセット・少林寺拳法教えパック、福袋等)
- 2 東京オンライン講習会 記念グッズ販売(予約販売) Tシャツ・タオル
- 3 全国高校選抜大会 記念Tシャツ(予約販売)
- 4 共有化ブック 企画(2021年販売予定)
- 5 鎮魂行 書き写しノート 企画(2021年販売予定)
- 6 2022年度 カレンダー 企画(2021年予約販売予定)